

# 広島市歯科医師会だより



# 11月号

Hiroshima City Dental Association

No.175 (R3.11.15)



## 目次

第36回おくちの健康展WEB開催のお知らせ	1 ページ
新型コロナウイルスワクチン大規模集団接種	2 ページ
行事報告	
令和3年度 第2回 四者協議会	2 ページ
RCC 中国放送「イマナマ」	
～イマシリ！受診控えは『万病のもと』あなたの歯は大丈夫ですか？～	3 ページ
第4回 支部長・副支部長会議	3 ページ
第1回 会史等編纂特別委員会	4 ページ
支部だより	
中区支部	5 ページ
東区支部	5 ページ
西区支部	7 ページ
各部からの報告	
今月の知っておきたいこと(広報部)	8 ページ
誰もが納得！ I L♥ve 広島弁じゃけえ。(広報部)	11 ページ
FM ちゅーピー(広報部)	12 ページ
YouTube(広報部)	13 ページ
会長コラム『柔しく剛く』	14 ページ
新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み	15 ページ
10月定例理事会報告	16 ページ
LINE 公式アカウント 友達募集	19 ページ

## 第36回おくちの健康展WEB開催のお知らせ

広島市民に向け、口腔衛生に関する多様な情報や体験・相談の場を提供する「おくちの健康展」は、毎年6月の「歯と口の健康週間」に行われてきましたが、新型コロナウイルス感染症の情勢に鑑み、昨年は中止、本年も延期されていきました。そこで、新たな試みとして、本年は11月8日の「いい歯の日」に合わせた11月の1か月間（11月1日（月）～11月30日（火））、インターネット上でのWEB形式で開催することにいたしました。

WEB開催にあたり、歯とおくちのことを楽しく知ってもらうために、「ハハタウン」というハハ姉妹が住む街をモチーフに、おくちの健康に関するアニメーションやプレゼントに応募できるクイズ等を準備し、お子さんから大人まで幅広く参加できる形式にしています。

会員の先生におかれましては、広島市民へ広く周知していただきますよう、ご協力をお願いいたします。

今後も、本会はコロナ禍であっても時代に則し、公衆衛生活動に尽力してまいりますので、引き続き、ご理解、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



ハハタウンへはこちらからどうぞ！

<https://www.okuchinokenkoten.com/>



## 新型コロナウイルスワクチン大規模集団接種

広島市から依頼を受け、4 地区共同で行った本事業が 10 月末をもって一旦終了となりました。

日歯の研修、広島県歯科医師会の研修を受け、ワクチンを 2 回接種した先生方にご協力いただき、6 月からグリーンアリーナ、安芸保健センターにて、本会より延べ 68 名の先生方に出務いただきました。

出務いただいた先生方には、この場を借りて御礼申し上げます。

今後も、ブースター接種等、行政より依頼があれば、本会として協力していく予定ですので、その際は、引き続き先生方のご協力よろしく申し上げます。

## 行事報告

### 令和 3 年度 第 2 回 四者協議会

日時：9 月 3 日(金)

場所：書面会議

本年度のよい歯の学校・児童表彰選考のため、広島市  
歯科医師会、広島市教育委員会、広島市立小学校長会、

広島市小学校教育研究会健康教育部会の代表で構成する  
標記の会を書面にて開催し、以下のように決定した。

#### 1. 児童表彰の部

昨年度に続き本年度も定期健康診断の実施が遅れているため、被表彰児童の選出基準は従来通りとするが、応募期限を例年より半年遅い 12 月とする。

#### 2. 学校表彰の部

以下の学校について、11 月 8 日のいい歯の日に各校ごとで表彰が行なわれる予定である。

特別優秀校	古市小学校	
優秀校	基町小学校(上川克己先生)	広島特別支援学校(上田裕次先生)
	中島小学校(津田祐一先生)	大塚小学校
	湯来西小学校	五日市南小学校
優良校	湯来東小学校	牛田小学校(能美和基先生)
	伴南小学校	
努力校	江波小学校(山本亮先生)	

# RCC 中国放送「イマナマ」 ～イマシリ！受診控えは『万病のもと』 あなたの歯は大丈夫ですか？～

取材日時：10月4日(月)午後0時30分

放送日：10月8日(金)午後5時30分～

2年近くも続くコロナ禍により医療機関に行くことをためらってしまう受診控え、医療機関ではこういった感染防止対策、工夫がされているのか、少しでも受診する側の不安を解消できれば、という目的で RCC 中国放送より10月1日に問い合わせがあったために水内裕之広報部理事が10月4日に取材協力した。

日本歯科医師会の昨年の7-8月に調査したデータでは歯科受診に「不安」を感じている人は58%という結果がでたこと、その後の感染拡大によりマスク生活が長引く中、久しぶりに受診した患者の口腔内にむし歯や歯周病の悪化があったこと、歯軋りや食いしばりによる歯のトラブルを認めたこと、そして歯科医院でとられる感染防止対策としてエアロゾルを吸引する「口腔外バキューム」についても話しました。

取材の最後に、受診をためらっている方を一人でも少なくしたいという思いで、歯の痛みを我慢することは病状を進行させるだけなので、ためらわずにお近くの歯科医院に安心して受診して欲しいことを伝え収録を終えた。



取材の様子

## 第4回 支部長・副支部長会議

日時：10月20日(水)午後7時30分

場所：広島市歯科医師会 2階「大会議室」

執行部から熊谷宏会長、瓜生賢副会長、能美和基専務理事が出席し、標記の会が開催された。

熊谷会長より「新型コロナウイルス感染症も落ち着いてきました。私としては広島市歯科医師会において会員親睦事業を充実させたいと考えていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響でそれを叶えていません。今回報告にもありますが、色々趣向を凝らしましたクリスマス特大号を出しますので支部の先生方には是非ご参加してください。本日もよろしく願いいたします。」と挨拶があった。報告、協議事項は以下の通りである。

### 報告

#### 中区支部

- 8月18日 第3回支部長・副支部長会
- 8月23日 新入会員面談柄慎太郎先生
- // 吉島圏域多職種連携会議小委員会
- 8月28日 江波圏域多職種連携会議(Zoom)
- // 広島市歯科医療福祉対策協議会総会(書面議決)
- 9月10日 中区地域保健対策協議会第18回災害時医療研修会(Zoom)

- 9月25日 中区地域保健対策協議会同行研修会
- 10月18日 吉島圏域多職種連携会議小委員会

#### 東区支部

- 8月18日 第3回支部長・副支部長会
- // 東区在宅サポート研修会 (Zoom)
- 8月28日 広島市歯科医療福祉対策協議会総会(書面議決)
- 10月15日 フェイスネット講習会
- // 第8回在宅医療・介護連携推進事業企



画会議

### 南区支部

- 8月18日 第3回支部長・副支部長会
- 8月19日 南区包括合同在宅医療・介護関係者研修会・連絡会(Zoom)
- 8月28日 広島市歯科医療福祉対策協議会総会(書面議決)
- 9月27日 南区支部理事会
- 10月12日 南区支部理事会

### 西区支部

- 8月18日 第3回支部長・副支部長会
- 8月25日 第2回災害対策委員会(Zoom)
- 8月28日 広島市歯科医療福祉対策協議会総会(書面議決)
- 9月9日 第10回医療と介護の連携会議  
庚午圏域(Zoom)
- 9月16日 西区災害対策医療研修会(Zoom)
- // 第9回井口台・井口圏域在宅医療・  
介護関係者の連携会議(Zoom)

9月25日 第14回古田圏域「医療と介護の連携  
会議」(Zoom)

9月29日 広島市西区三師会地域医療講演会

### 執行部

- ・年末歯科当番医について
- ・サンスターからの試供品について
- ・だより「号外」について
- ・クリスマスパーティーについて
- ・新年互礼会について
- ・その他

### 協 議

#### ①中 区

- ・新型コロナウイルスワクチン3回目接種について
- ・中区地域保健対策協議会同行研修の人選について
- ・訪問マッサージとの事業提携について
- ・令和3年度新型コロナウイルス感染症感染拡大防止継続支援補助金について
- ・その他

## 第1回 会史等編纂特別委員会

日時：11月1日(月)午後7時30分

場所：広島市歯科医師会 2階「大会議室」

本会は大正中期に設立され、今ある各種事業が諸先輩方の大変なご苦勞の上に成り立ち、そのことを知る会員も時代とともに減少しつつあり、当時の詳細を知る会員も徐々に高齢化してきており、今を逃しては当時の経緯等を知ることは困難になる。

そこで当時活躍された会員からの聞き取り等による取材を開始する必要から、本委員会が令和3年8月25日

の理事会にて特別委員会として承認され、第1回委員会  
が表記の通り開催された。

本委員会は、三保浩一郎委員長、石川潔委員、橋本直典委員、能美和基委員の4名で構成され、活動方針、発表方法、委員会の進行について協議された。

本会についての情報がある会員先生におかれましては、取材をさせていただきますので広島市歯科医師会事務局(082-262-2662)までご連絡をお願いいたします。

# 支部だより

## 中区支部

### 中区地域対策協議会同行研修会

日時：10月23日(土)午後1時30分

場所：橋本内科(集合)

橋本義政中区医師会理事指導の下、標記の会が執り行われた。

まず当日、橋本内科に集合し、訪問診療を予定している在宅患者の簡単な症例紹介がなされた後、患者のもとへ出向いた。実際の医師の訪問診療で見学する体験は、地対協のケアマネジメント会議における症例紹介とは一味違った、新鮮なものであった。橋本理事のご厚意により、患者の口腔内を診させていただいた際には、外来、訪問を問わず歯科への診療の依頼があった際には、まず口腔内の衛生状態を鑑みた際に、どのような治療が必要になってくるのか、現在の摂食嚥下の状態がどうであるのか、また歯の欠損状況において義歯がうまく機能しているのか否か等、いろいろと考えさせられるものであった。

ここ数年において、高齢者人口の増加は著しく、多職種による在宅での高齢者医療の必要性は論を俟たないところではあるが、歯科医療における課題はいろいろとあるように思われる。多職種連携におけるキーワードは「顔の

見える関係づくり」である。本日のこの貴重な体験は、今後の外来、訪問に関係なく、歯科診療に生かしていきたいと思った。そしてまたこのことに関心がある中区支部会員には、是非体験してもらいたいと思った。

この研修会には、中区支部より波田佳範支部長が参加した。



波田佳範中区支部長と  
橋本義政中区医師会理事

## 東区支部

### フェイスネット「TRITRUS」講習会 第1回 入門編(主に初めての連携参加者)

日時：10月15日(金)午後7時

場所：広島医師会館3階「視聴覚室」

広島市東区地域保健対策協議会(東区地対協)及び広島市東区医師会の共催にて標記の会が開催された。野々山深東区地対協理事(東区医師会理事)の司会で、金谷雄生東区地対協会長(広島市東区医師会会長)の挨拶で始まった。

このシステムは、平成25年度より運用されている、地域の医師、歯科医師、薬剤師、看護職員、ケアマネジャーなどの多職種協働による在宅医療の支援体制を構築するフェイスネット事業である、ICTを利用した在宅医療看

護の多職種連携のシステムである。

第1部としてカナミック社のスタッフからシステムの特徴や利用メリット、システムの基本操作の説明があり、続いてパソコンを用いたハンズオン実習が行われた。

クラウドサービスを用いたシステムで、セキュリティー面は徹底されているとのことである。

各患者のページにPDF、エクセル、ワード並びに画像情報も添付可能であり、カレンダー機能で患者の動向を確

認したりチャット機能でスタッフ間でのコミュニケーションを取り合うことも容易である。

実際に投稿や添付の仕方、既読の管理などの実習を行った。

第 1 部として金谷会長が実際の運用状況について説明され、データベースに多くの情報を各方面から入れ込むことにより、より確かなものになることを強調された。

質疑応答の後、野々山理事が閉会の辞を述べ閉会した。

なおこの会議には、東区支部より前島真紀子副支部長と青木健氏が参加した。



講習会の様子

### 東区多職種連携の会～ひがしの絆～

日時：10月22日(金)午後7時

場所：ホテルグランヴィア広島4階「悠久の間」

令和3年度広島市在宅医療・介護連携推進事業の一環として標記の会が開催された。

今回はコロナ感染症拡大防止の一環として会場とZoomを使用してのハイブリッド開催であり、80名以上が参加した。

金谷雄生東区地域保健対策協議会会長(東区医師会長)、篠原富子東区地対協副会長(東区長)の挨拶で始まった。

続いて、座長永田秀之東区地対協常任理事(東区医師会理事)より、コロナ禍における多職種への事前アンケートの結果について報告があった。多くの項目があったが、特にケアマネジャーの方が連携の難しさを訴えたことが印象的であった。

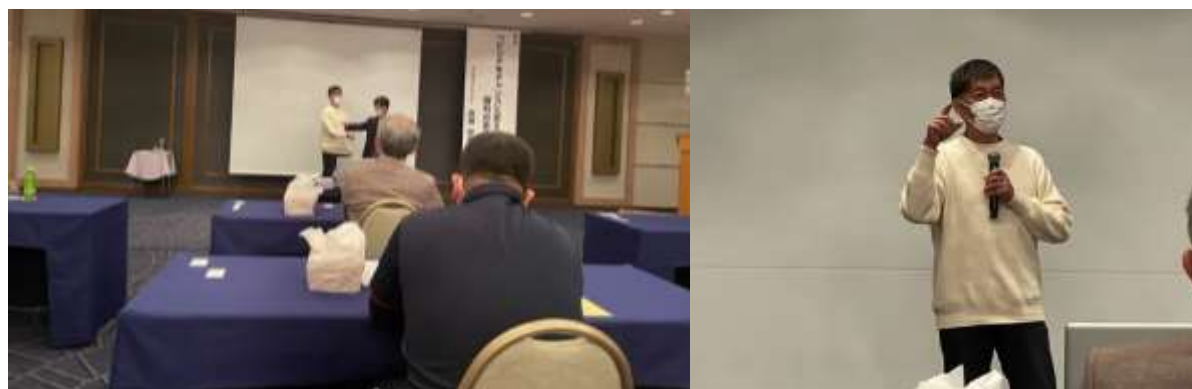
次に高畑好秀メンタルトレーナーより、「ピンチをチャンスに変える勝利の思考法」という演題で、コロナ禍で疲

弊した医療・介護者にアスリート目線から、メンタルトレーニングを通して活力を取り戻すべく講演が行われた。かのイチロー選手や北島康介選手、カープやロッテなど複数のプロ野球球団のメンタルトレーニングもされてきたそうである。

参加者の多くの思い込みをぶっ壊すとの言葉から始まり、軽快な口調で様々な事例を出しつつ面白おかしく講演された。常に発想を転換して、自分の目の前にある事象をプラス思考で考えることが大切、人生の中で分岐点でのチョイスは前向きに、との締め言葉で講演は終わった。

活発な質疑応答の後、篠原副会長が閉会の辞を述べ閉会した。

なお、東区支部から宮村健一支部長、前島真紀子副支部長、青木健氏、岩井敏之氏、竹本美保氏が参加した。



(左)講演の様子(右)講演をする高畑好秀メンタルトレーナー

## 西区支部

### 令和3年度 第14回 古田圏域「医療と介護の連携会議」

日時：9月25日(土)午後3時

場所：オンライン開催 (Zoom)

古田地域包括支援センター主催により、オンラインによる標記の会が開催された。

寛平真介古田地域包括支援センター長による開会挨拶の後、講演が行われた。演題は「コミュニティにおける新型コロナウイルス感染症の話題」で、講師は桑原正雄広島県感染症・疾病管理センター長により行われた。この講演では、コロナ禍における新規感染者推移やその感染経路、ならびにクラスター発生状況を説明後、今後の展開として変異株の感染拡大を懸念された。また、新型コロナウイルスワクチンの接種率や今後の課題を広島県公式 HP のデータを用いて説明後、その有用性とリスクファクターについても解説された。また、インフルエンザウイルスとの同時感染拡大に関する懸念も提示され、両ワクチンは同時接種出来ない旨や、その改善案が紹介された。

続いて、油野初音古田地域包括支援センター保健師による講義があり、内容は、「コロナ禍でのフレイル予防を考える」というテーマに沿って行われ、コロナ禍における高齢者の不安や疑問に関するアンケート調査結果をもとに、今後の課題と取り組みについて明示された。

その後、7グループに分かれ、各職種の立場から講演・講義に関する感想や意見交換が行われた。コロナ禍において、感染の有無を問わずフレイル症状が散見されていることからフレイル予防の重要性を再認識するグループワークとなった。

最後に、草野登美子広島市西区地域支えあい課地域支援担当課長から大変有意義な情報共有の場となったとの閉会挨拶があった。

なお、西区支部からは佐久間光俊副支部長、濱岡代枝氏、藤田友昭氏が参加した。

### 広島市西区三師会地域医療講演会

日時：9月29日(水)午後7時

場所：TKP ガーデンシティ広島 2階「パール」

標記の会が三師会並びに東和薬品の共催により、会場および Zoom によるハイブリッド形式で開催された。平林一郎西区医師会会長による開会挨拶の後、特別講演に移った。

歯科からは藤田友昭地域歯科保健部理事が「オーラルフレイルについて」と題し講演した。

特に口腔機能の低下が身体の運動機能の低下に結び付くので、少しでも口腔の異常に気づいたら歯科受診を考慮して欲しいと要望された。

医科からは岩崎庸子広島市西部認知症医療センター長より「地域で診る老年期精神疾患~認知症との鑑別~」と題して、高齢者の幻覚妄想また高齢者の感情障害と認知症についての講演があった。

最後に田中信吾西区支部長の閉会の辞で終了した。今後とも加速する超高齢化社会において、このような高齢者の身体的、精神的特徴を早期に把握し、治療に結び付けることは医療人として不可欠であり、三師会で情報共有する重要性を再認識した。



# 各部からの報告

## 広報部

記事の詳細確認は自己責任にてリンク先でお願いします。

最新記事はホームページにてご覧ください。各記事のQRコードをスマートフォン等で読み取っていただければ、該当記事のページにアクセスできます。(リンク切れはご容赦願います。)

### 新型コロナウイルスに関する最新の情報はこちらをご参照ください

内閣官房 新型コロナウイルス感染症対策

<https://corona.go.jp>



厚生労働省 新型コロナ感染症について

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)



広島県 新型コロナウイルス感染症に関する情報

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/2019-ncov/>



広島市 新型コロナウイルス感染症に関する情報

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>



### 今月の知っておきたいこと

#### ▼歯科医師・比嘉奈津美氏(参院・自民党)が繰り上げ当選

HYORON(2021年10月21日)

<https://www.hyoron.co.jp/news/n44070.html>

令和元年7月21日に行われた参院選(比例代表)において、歯科界支援の比嘉奈津美(ひがなつみ)氏は急な選挙対応の中にあつて善戦するも次点に泣いたが、このほど比例代表選出議員に欠員が生じ繰り上げ当選が決定、10月21日に当選証書が付与された。

これは、山口選挙区選出参院議員の林 芳正氏が10月31日投票の衆院選に繰り替え立候補し、同選挙区の補欠選挙に当たって参院比例代表選出議員であった北村経夫氏が立候補したことによる、欠員補充措置で繰り上げ当選したものである。

なお、比嘉氏は沖縄県在住で福岡歯科大学卒業、衆議院議員を2期務めた。



#### ▼米FDA、モデルナとJ&Jワクチンの追加接種認める...ファイザーと合わせ3種類すべて承認

medical-tribune(2021年10月21日)

<https://medical-tribune.co.jp/news/2021/1021539527/>

米食品医薬品局(FDA)は20日、米モデルナ製と米ジョンソン・エンド・ジョンソン(J&J)製の新型コロナウイルスワクチンについて、接種完了者への追加接種を認めたと発表した。米ファイザー製と合わせ、米国内で接種が進む3種類すべてを承認した。

FDAは、種類の異なるワクチンを組み合わせて追加投与する「混合接種」も承認した。ジャネット・ウッドコック長官代行は声明で、「接種を完了した人の一部で免疫が低下しているとのデータがある。追加接種は新型コロナから身を守るためにも重要だ」と強調した。



### ニュースピックアップ

#### ▼イベルメクチン個人輸入に警鐘「科学的根拠ない」

THE SANKEI NEWS 2021年10月17日

<https://www.sankei.com/article/20211017-OV5SWW7GZ5M7ROWRZ63ZDEQDPA/>

新型コロナウイルスの感染予防や治療を目的に、国内で承認されていない抗寄生虫薬「イベルメクチン」を海外から個人輸入して使用する動きが広がっている。イベルメクチンは東京都医師会が使用許可を認めるよう求めたことで注目を集めたが、国内外の臨床試験で有効性は明らかになっていない。専門家は「個人輸入での服用はしないように」と警鐘を鳴



らしている。

◎試験管レベルではウイルスの増殖抑制効果が示され、国内外で研究が進んでいるが安全性や効果はまだ確認されていないとのこと。イベルメクチンに限らず、何に対しても正しい知識を得るように、自分自身が得る情報の精度を高めていかなければなりません。

#### ▼ワクチン2回接種7716万人 12歳以上の6割を突破

THE SANKEI NEWS 2021年10月5日



<https://www.sankei.com/article/20211005-5ULORJR4EJN35BOHI7BZK2HBQI/>

政府は国内で新型コロナウイルスワクチンの2回接種を完了した人が4日時点で7716万2035人となり、12歳以上の人口に占める接種率が60.9%に達したと発表した。1回目接種が完了したのは9028万7343人で71.3%となった。

◎全体の接種回数は1億6744万9378回に到達。65歳以上の高齢者(約3600万人)のうち1回以上接種者は90.6%、2回接種完了は89.4%に上ったそうです。また、堀内ワクチン接種推進担当相は記者会見で、3回目接種の在り方を検討中だと説明しました。今後のブースター接種について要注目です。

### ▼ワクチン3回目接種、年内想定は104万人

THE SANKEI NEWS 2021年10月12日

<https://www.sankei.com/article/20211012-7EFVLKN7H5J37M73DW52TY5QME/>

岸田文雄首相が12日、新型コロナウイルスワクチンの3回目接種について、早ければ12月にも開始すると表明した。厚生労働省は、今年2月から先行接種した医療従事者ら約104万人を最初の対象者に想定しており、自治体などへのワクチン供給は「現在の確保分でまかなえる」としている。

◎ワクチンの3回目接種は、厚労省の専門分科会が2回目接種から8カ月以降を目安に行うことを了承し、対象者や使用するワクチンの検討を続けています。厚労省によると、年内の3回目接種が想定される約104万人は今年3~4月に2回目接種を済ませた人で、次いで、来年1月に医療従事者や高齢者、一般住民ら約304万人、同2月に同じく約1399万人の接種が見込まれるということです。

### ▼国内1330万人の国民病「慢性腎臓病(CKD)」に初の治療薬承認…腎機能悪化や死亡のリスク下げる

yomiDr. 2021年10月16日

[https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20211004-OYTET50008/?catname=news-kaisetsu\\_kaisetsu-kikaku\\_shiritai](https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20211004-OYTET50008/?catname=news-kaisetsu_kaisetsu-kikaku_shiritai)

腎臓の機能が徐々に落ちていく「慢性腎臓病(CKD)」は、成人の8人に1人が患者とされ、「国民病」とも言われています。今年8月、この病気の治療薬が厚生労働省から初めて承認されました。早めに投与することで、重症化を防ぐ効果が期待されます。

◎腎臓病は気がつかない間に悪化する病気です。人工透析が必要になると食生活や行動にも制限がかかってしまいます。早期発見が一番大切ですが、早めに使うことで重症化が防げればQOLの維持にも役立つでしょう。これからも色々な治療薬の開発が進むことを願います。

### ▼ALS 進行、白血病の薬で食い止める iPS 創薬の治験で世界初

朝日新聞デジタル 2021年10月01日

[https://www.asahi.com/articles/ASP9Z7QBWP9ZPLBJ001.html?iref=pc\\_ss\\_date\\_article](https://www.asahi.com/articles/ASP9Z7QBWP9ZPLBJ001.html?iref=pc_ss_date_article)

体が徐々に動かなくなっていく難病「筋萎縮性側索硬化症(ALS)」について、京都大などのチームは30日、iPS細胞

を使って見つけた治療薬候補の「ボスチニブ」を飲んでもらう治験の結果、一部の患者で進行を止められた可能性がある」と発表した。

◎10月3日から開催された「第25回世界神経会議」で発表され、今後、世界的に研究が進展してきそうです。

### ▼HIV検査・相談が激減 熊本市保健所「コロナ禍の影響」早期発見できない懸念も

熊本日日新聞 2021年10月6日

<https://nordot.app/818272013122961408>

2020年に熊本市保健所で実施したHIV(エイズウイルス)検査数と相談数が過去20年で最も少なかったことが5日、明らかになった。同日の市エイズ総合対策推進会議で報告され、会長の松下修三熊本大ヒトレトロウイルス学共同研究センター教授は「コロナ禍での検査控えと検査体制の縮小が影響しており、早期発見できない状況にある」と警鐘を鳴らした。

◎熊本市感染症対策課によると、HIV検査数と相談件数いずれも過去20年で最も少ない状況のようです。コロナ禍の影響で、受診控えが原因ではないかということです。受診控えは健康に悪影響を及ぼすので注意が必要です。

### ▼手足口病が大分県内で流行 警報基準の2倍超 対策徹底呼び掛け

西日本新聞 2021年10月9日

<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/813324/>

主に乳幼児が感染し、口の中の粘膜や手、足に水疱(すいほう)を発症する「手足口病」が大分県内で流行している。1医療機関当たりの患者数は県の警報基準の2倍超に増加。例年は夏場にピークを迎えることが多いが、今年は9月以降も増加を続けており、県は手洗いなど対策の徹底を呼び掛けている。

◎大分県内で手足口病の患者数が増加を続けており、1医療機関あたりの患者数が、警報基準の5人を大幅に上回り、10.75人に達したようです。大分県感染症対策課は予防で最も大切なのは「手を洗うこと、家庭内でのタオルの共用も避けてほしい」としています。

### ▼筋ジストロフィーで「虐待」3割超 ナースコール無視、入浴で異性介助 障害当事者ら全国調査

京都新聞 2021年10月17日

<https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/659170>

全身の筋肉が徐々に動かせなくなる難病、筋ジストロフィー(筋ジス)患者が入院する「筋ジストロフィー」の実態調査を、京都市の障害者団体などが初めて実施し、15日に報告書を公表した。病院スタッフから「虐待」を受けたことがあると回答した人は3割超に上り、中でもナースコールを長時間無視されたり、外部とつながるインターネットの利用を制限されたりするなど、患者が抑圧されている現状が浮き彫りになった。当事者らは「閉鎖的な環境や慢性的な人手不足が背景にある」と訴える。

◎皆さんご存じのように、筋ジストロフィー患者は知能に障害はありません。虐待するのは論外ですが、彼らが活躍できる社会の実現を目指すべきでしょうね。

## ▼日本脳炎を発症した女性死亡…蚊がウイルス媒介…人から人には感染せず



yomiDr. 2021年10月14日

[https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20211014-OYT1T50151/?catname=news-kaisetsu\\_news](https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20211014-OYT1T50151/?catname=news-kaisetsu_news)

大分県は13日、国東市の女性(80歳代)が日本脳炎を発症して死亡したと発表した。統計が残る2006年以降、県内で日本脳炎による死者が確認されるのは初めて。県によると、女性は9月12日に39.1度の熱が出て入院し、29日に亡くなった。今月8日、死亡後の検査で判明し、東部保健所に連絡があった。

◎ワクチン接種の効果もあって、ほぼ絶滅したと思われがちな日本脳炎ですが、近年でも年間に10人程度の発症者が報告されています。蚊に刺されないように注意しましょう。

## ▼8月の現金給与総額 前年同月比0.7%増も感染拡大前には戻らず



NHK NEWS WEB 2021年10月8日

[https://www3.nhk.or.jp/news/html/20211008/k10013296901000.html?utm\\_int=nsearch\\_contents\\_search-items\\_010](https://www3.nhk.or.jp/news/html/20211008/k10013296901000.html?utm_int=nsearch_contents_search-items_010)

働く人1人当たりのことし8月の現金給与総額は、平均でおよそ27万5000円と、前の年の同じ月より0.7%増えましたが、厚生労働省は「感染拡大前の水準には戻っておらず、飲食業などは残業代の減少が続いている」としています。

◎現金給与額は昨年と比較して、プラスとなったようです。しかし、新型コロナウイルス感染拡大前の水準には戻っておらず、「宿泊・飲食サービス業」は昨年8月より25.1%減少しています。業種による格差の拡大が懸念されます。

## ▼夜更かし増える小中学生、長引く外出自粛でスマホ利用時間も増える…睡眠時間が減少



yomiDr. 2021年09月24日

[https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20210924-OYT1T50067/?catname=news-kaisetsu\\_news](https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20210924-OYT1T50067/?catname=news-kaisetsu_news)

コロナ禍での生活で、小中学生の睡眠時間が減少していることが堺市教育委員会の調査でわかった。市教委は、長引く外出自粛でスマホの利用時間が増え、夜更かしにつながっていると分析。

◎外出できないという理由でゲームを黙認すると、睡眠不足状態、遅刻、学力低下、不登校などにつながる可能性があります。就寝前1時間は画面を見ないという取り組みが、子どもも大人も同じように必要です。

## ▼日大理事と医療法人前理事長を背任容疑で逮捕 東京地検特捜部



NHK NEWS WEB 2021年10月7日

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20211007/k10013295591000.html>

日本大学の理事が、付属病院の建て替え工事の設計業務の契約をめぐる、大阪の大手医療法人側に2億円余りを流出させ、大学に損害を与えたとして、東京地検特捜部は理事と医療法人の前理事長を背任の疑いで逮捕しました。関係者によりますと、理事はこれまでの任意の事情聴取に対し、容疑を全面的に否定しているということです。

◎連日ニュースを賑わせている日本大学附属病院の建て替えをめぐる背任事件ですが、日本大学歯学部出身の先生は気が気ではないでしょうね。一日も早く真相を解明して、研究に診療に専念できるようになることを祈ります。



広報部より連載記事をぼちぼちと発信いたします。気長にお付き合いのほどを。

## 誰もが納得！ I L♥ve 広島弁じゃけえ。

### ～第25回～ イガルってなんだ??

富士見太郎さんは60歳代の歯科医師です。今日は広島市歯科医師会の定時総会に出席のため、二葉の里の歯科医師会館を訪れています。総会では新執行部の方針に対する意見が活発に出っていますが、中でも60歳代のAさんは新執行部に対して辛辣な意見を大きな声で発言するため、多くの会員は眉をひそめています。あまりにシツコイAさんの発言に、富士見さんはついに、「そが一にイガるなや！」と野次を飛ばしました。



広島県内では大きな声を出すことを「イガル」または「オラブ」と言います。本連載のバイブル「広島縣方言の研究」広島縣師範學校郷土研究室編によると、「イガル＝叫ぶ」、「オラブ＝叫ぶ」とだけ表記しており、一見同義語のような扱いですが、果たしてそうなのでしょうか。あるブログによると、「イガル＝怒鳴る」、「オラブ＝叫ぶ」と区別していました。また、近県での使われ方を調査してみたところ、愛媛県では「イガル＝幼児がダダをこねる時に出すカン高い声。またその様子」、岡山県では「イガル＝大きな声で泣き叫ぶ」とありました。

イガルとオラブの明確な区別のために標準語の「叫ぶ」とその類義語の意味を見てみましょう。以下に「叫ぶ」「怒鳴る」「喚く(わめく)」の違いを記します。

「叫ぶ」は、遠くに届くように、また、突然のことに驚いたりして大きな声を出す意であるが、「怒鳴る」は、怒ったりしかなかったり命令したりするために大きな声を出す意である。「喚く」は、不平不満、非難、訴えなどを表わすための大きな声で、繰り返したり、長く続いたりすることが多い。大声で騒ぐ。
---

登山中の「ヤッホー！」は「叫ぶ」ですが、体育教師の「ワリヤア、何しよんならあ！」は「怒鳴る」、5歳児がスーパーマーケットでお目当てのグリコを買ってもらえない時が「喚く」、と言えれば分かりやすいでしょうか。ここでは「オラブ≒叫ぶ」、「イガル≒喚く」としましょう。

そういえば、子供の頃の筆者は母親からのみならず小学校の担任からも、「そがあにイガらんでも通じるけえ」と叱られたものです(笑)。「イガル」には「我を通すため大声」と意味を含んでいたと推察する筆者です。富士見さんの野次はそんなニュアンスを含んでいたんですね。

発声は喉頭に含まれる声帯から主に発せられるため、我々の診療範囲外とされがちですが、歯列や舌、口蓋など、歯科医療の及ぶ部位の影響が大なのは我々の良く知るところです。口から発せられる「声」にまつわる広島弁も知っておきましょう。また、広島市歯科医師会は大人の集まりですので、オラんだり、イガったりすることのないように、冷静に話し合いをしましょう(笑)。

※参考文献 「広島縣方言の研究」広島縣師範學校郷土研究室編

※国語学的な知識を持たない一介の歯科医の見解であり、間違っているかもしれません(笑)。



**感染対策の基本はしっかりと！**

**広島市歯科医師会作成「不安な？歯医者」**

<https://youtu.be/xnq0YK1MPao>



**広島市歯科医師会作成 アニメーション「ハハ姉妹」完成しました**

いつもゆかいなハハ姉妹が日常生活の中で分かりやすくお口にまつわるちょっと役に立つ話を色々教えてくれます♪

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLyf4zcYp6dvghisn8nQIsotsZC6ZFFs3q>



---

---

**FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」**

---

---



FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオ

「お口の健康広場デンタルパーク」 広島すまいるパフェ 第1・3水曜日午後0時50分から

11月3日放送分

「セラミックによる治療」

広島市歯科医師会 高橋由佳氏

虫歯治療をする際、詰め物・かぶせ物の種類で、銀歯のほかにセラミックという材料を聞いたことがありますか。セラミックにはこういった特徴があり、何を基準に選べばよいのでしょうか。今回は歯科治療で用いるセラミックについて、広島市歯科医師会の歯科医師、高橋由佳さんが注意点も含めて解説します。

11月17日放送分

「マウスガードについて」

広島市歯科医師会 土屋崇文氏

マウスガードには大きく二つの役割があります。一つはけがの防止。もう一つは本来持っている運動能力の向上です。スポーツにおけるけがやトラブルを防止し、安心してスポーツを楽しむためにはマウスガードの正しい知識と使い方が必要です。広島市歯科医師会の歯科医師、土屋崇文さんが解説します。



## 【公式】広島市歯科医師会広報 チャンネル

ぜひご視聴ください

チャンネル登録お願いします

9月1日放送分

「新型コロナウイルスワクチン接種体験談」

広島市歯科医師会 田中尊治氏、鈴木良貴氏、水内裕之氏

[https://youtu.be/y\\_fs810wPbg](https://youtu.be/y_fs810wPbg)



9月15日放送分

「知覚過敏」

広島市歯科医師会 鈴木良貴氏

<https://youtu.be/nsE710c46HA>



会長就任以来、新型コロナウイルス対応に全力を尽くしてきました。瓜生副会長、能美専務理事はじめ理事の皆様の献身的な働きで、「だより号外を出すぞ!」といった会長のわがままもすべて実現することができました。改めて執行部の皆様に感謝したいと思います。さまざまな評価はあると思いますし、ご批判も素直に受け入れ改善に努めていきたいと思っています。

さて、広島県では緊急事態宣言が9月末、その後の集中対策も10月14日で終了し、現時点では落ち着きを取り戻しつつあります。これまで中止や自粛してきた対面での会議や飲食を伴う懇親などを、いつ、どの様に再開するか、アフターコロナの会務をどのようにすべきか考える時期に来たと思っています。

先日行われた支部長・副支部長会議において、支部における年末年始の懇親の予定を伺ったところ、「執行部が再開してくれないと我々として再開するのは難しい」とのご意見も伺いました。会務を預かる立場で正直に申し上げると、悩んだら「中止」「自粛」しておけば、批判を受けることは少なく無難な選択に心が動くものです。

しかし、我々はマスコミの報道や感情に左右されるのではなく、医療人としての社会的地位や職域組織としての社会的責任を理解した上で、医学的判断、また知識人としての客観的判断を行い会務に臨んでいかなければなら

ないと考えています。

その上で、今後の会務についていくつか触れさせていただきます。

まず、例年6月初旬に広島そごう本店屋上で、2000人以上にお越しいただき開催している「おくちの健康展」です。昨年は中止しましたが、今年は時期を11月(11月8日・いい歯の日に因んで)にずらした上で、1か月間のインターネット上でのWeb開催という形で実施することとしました。

先般本会が生み出したキャラクター「ハハ姉妹」が住んでいる町「ハハタウン」を仮想会場として、ネット上で楽しみながら、歯とお口のことを知って頂けるよう工夫しました。歯科衛生士会、歯科技工士会、栄養士会の皆様にもハハ姉妹を主人公とする動画を制作いただきました。本稿がお手元に届く頃には、開催しておりますので是非ご入場ください。

クリスマスパーティーは、だより「クリスマス特大号」による紙面パーティーとすることはご案内したとおりですが、今頭を悩ませているのが来年年初に実施予定の新年互礼会です。感染状況が悪化した場合は当然対面での実施はできませんが、現在の状況が維持された場合に、開催するのか?するならどのような形で開催するのか、について理事会で協議しています。最後は会長たる私の責任において判断するつもりです。

最後に、昨年の感染拡大時に発

会長コラム (第28回)

## 柔しく剛く

いつまで新型コロナウイルスとつきあうのか?

熊谷 宏

刊していただより号外を、9月、10月と2回発行しました。このだより号外ですが、広島県歯科医師会ホームページの会員サイトにアップされているだけでなく、「是非うちの郡市会でも配布させてほしい」という問い合わせを多数いただいています。福山市歯科医師会、呉市歯科医師会、三次市歯科医師会で、会員に配布されているとのこと。また遠くは東京都中野区歯科医師会から、是非送ってほしいとの要望もありました。歯科医師会の仲間への情報提供ですので、すべて喜んで了承させていただきます。

私事になりますが、この広島市歯科医師会だよりは、私が森本克廣執行部の総務部理事だった時代に、会長をお願いしてすべて手作りで始めたものです。会務運営は執行部のトップダウンではなく、会員の先生方への情報提供に基づき、会員の叡智を集約したボトムアップで行われるべきとの信念から始めました。今後とも、情報提供に努めてまいりますので、ご意見・ご感想などお寄せいただければと思います。

# 新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み

(2021年10月)

## 新型コロナウイルス感染症対策これまでの経緯(2021年10月1日～10月31日)

世界・日本での経過	2021年	広島市歯科医師会での対応
米製薬会社 臨床試験の中間分析結果発表「飲む治療薬で新型コロナ重症化リスク半減」 国内累計感染者数 1,702,874人 世界累計感染者数 233,136,147人	10月1日	
ワクチン2回目接種終了した人 全人口の60%超に	10月4日	歯科医師によるワクチン接種についてメール協議
	10月5日	歯科医師によるワクチン接種についてメール協議
国立国際医療センターなどコロナ重症化リスクの新たな指標を作成	10月6日	
厚生省「抗体カクテル療法」約3万5000人が投与を受けたとみられる	10月7日	
新型コロナ抗原検査キット 薬局で一般向け販売始まる	10月8日	
シンガポール ブレイクスルー感染拡大もロックダウンは行わず 新型コロナとの共存戦略を打ち出す	10月9日	
国内累計感染者数 1,710,342人 世界累計感染者数 236,599,025人	10月10日	
国立国際医療センター“コロナ後遺症”感染の半年後にも4人に1人でみられる	10月11日	歯科医師によるワクチン接種についてメール協議
英議会 英政府のコロナ初期対応は「公衆衛生上の失敗」と公表	10月12日	歯科医師によるワクチン接種についてメール協議
	10月13日	歯科医師によるワクチン接種についてメール協議
厚労省 10代・20代の男性はファイザーワクチン接種も選択可能	10月15日	だより号外(R3.10.15)
厚労省 入院患者受け入れを今夏のピーク時より2割増 都道府県に求める	10月16日	
新型コロナワクチン 全人口の74%余が1回接種 66%余が2回目接種	10月17日	
国産“次世代型ワクチン”初期臨床試験開始	10月18日	歯科医師によるワクチン接種についてメール協議
	10月19日	歯科医師によるワクチン接種についてメール協議
国内累計感染者数 1,715,991人 世界累計感染者数 241,411,380人	10月20日	
KMバイオロジクス 国産ワクチンの後期臨床試験を開始と発表	10月22日	
ロシア コロナ感染再拡大 モスクワなどで経済活動制限へ	10月25日	歯科医師によるワクチン接種についてメール協議
米FDA諮問委員会 5歳から11歳の子供へのファイザー接種拡大許可へ	10月26日	
厚労省 3回目接種“全ての人を対象に”方針一致	10月28日	
G20サミット ワクチン“来年半ばまでに世界人口70%に接種へ” 国内累計感染者数 1,722,740人 世界累計感染者数 245,373,039人	10月30日	

集計元情報：Johns Hopkins 大学、厚生労働省、各自治体

※以前のものは前号参照



# 10月定例理事会報告

## 「部外報告」

- 9月26日 【Web参加】(県歯)災害歯科保健医療体制研修会
- 9月28日 【Web開催】「元気じゃけんひろしま21(第2次)」の推進に係る働く世代の健康づくり部会
- 9月29日 歯科医師国保組合理事会
- 9月30日 【Web開催】広島県みんなのDXセミナー
- 10月1日 社会保険診療報酬支払基金再審査
- 10月6日 滅菌事業公示
- 10月7日 (県歯)会員サポート室会議
- 10月8日 【Web開催】(県歯)社会保険指導者研修会
- 10月13日 滅菌事業入札
- 10月15日 滅菌事業開札
- 10月16日 【中止】第53回十三指定都市歯科医師会役員連絡協議会
- 10月17日 【Web開催】かかりつけ医等在宅医療推進研修会
- 10月18日 滅菌事業落札
- 10月19日 広島県国保連合会歯科再審査部会
- 10月20-24日 広島県国保連合会歯科審査部会
- 10月20-25日 社会保険診療報酬支払基金審査(25日合議)
- 10月21日 広島市国民健康保険事業の運営に関する協議会

## (連盟関係)

- 10月14日 岸田選挙事務所に檄文と推薦状持参
- 10月19日 第49回衆議院議員総選挙公示
- 〃 衆議院議員選挙出陣式(白神社)
- 〃 衆議院議員選挙陣中見舞い(岸田選挙事務所)

## 「総務関係」

- 9月23日 広島東洋カープ観戦の集い
- 10月20日 第4回支部長・副支部長会
- 10月25日 三役会
- 10月27日 定例理事会

## (慶弔関係)

- 8月21日 南区支部 谷巖範先生ご尊父様ご逝去
- 9月27日 中区支部 川原正照先生 厚生労働大臣表彰(保健事業功労者)
- 10月21日 広島市優良技能勤労者表彰式  
みどり歯科医院 藤井政恵  
石田歯科矯正歯科クリニック  
北垣内英子

## (入会退会関係)

## (県歯理事会関係)

- 10月7日 (県歯)理事会

## (1) 総務部 (森本理事)

- 9月28日 休診レセプト点検
- 10月1日 社会保険診療報酬支払基金再審査

- 10月13日 定例委員会
- 10月14日 (県歯)保険部常任委員会
- 10月20-25日 社会保険診療報酬支払基金審査(25日合議)

## (2) 学術部 (花岡理事)

- 9月26日 【Web参加】(県歯)災害歯科保健医療体制研修会
- 9月29日 業者(富士フィルムビジネスイノベーションジャパン)との打合せ
- 10月8日 定例委員会

## (3) 厚生部 (谷理事)

- 9月23日 クリスマスパティー代替案について協議
- 〃 広島東洋カープ観戦の集い
- 10月3日 クリスマスパティー代替案について協議(景品打合せ)
- 10月5日 定例委員会
- 10月6日 クリスマスパティー代替案について協議(選者との打合せ)
- 10月11日 臨時委員会

## (4) 地域歯科保健部

- 10月15日 定例委員会

## <地域保健> (若林理事)

- 9月28日 【Web開催】「元気じゃけんひろしま21(第2次)」の推進に係る働く世代の健康づくり部会
- 10月2日 (県歯)「労働安全衛生法に基づく歯科特殊健康診断の研修事業」研修会
- 10月7日 中区介護認定審査会
- 10月13日 (県歯)地域保健部常任委員会
- 10月16日 (県歯)全国がん医科歯科連携DVD講習会
- 10月21日 中区介護認定審査会
- ・おくちの健康展 Web開催について
  - ・令和3年末歯科当番医制業務について
  - ・保健センター配布リーフレットについて
  - ・乳幼児集団健康診査再開について

## <地域連携> (藤田理事)

- 9月29日 広島市西区3師会講演会
- 10月14日 令和3年度介護予防ケアマネジメント研修 基礎研修会
- 10月17日 【Web開催】かかりつけ医等在宅医療推進研修会
- 10月23日 新型コロナウイルスワクチン集団接種出務
- 10月25日 中広地域包括支援センター主催介護予防教室

## <学校保健> (石田理事)

- 10月1日 学校嘱託歯科医への対応について
- 10月22日 学校嘱託歯科医への対応について

**(5) 広報部 (水内理事)**

- 9月23日 広島東洋カープ観戦の集い
- 10月 1日 校正委員会(だより10月号)
- 10月 4日 イマナマ収録(10月8日放送)
- 10月11日 FMちゅーピー収録
- 10月22日 【Web会議】情報調査委員会
- 10月25日 アトラクトワンと協議  
(動画 YouTube アップロードについて)

**FMちゅーピー (新聞掲載)**

- 11月 3日 「歯科治療で用いられるセラミックについて」  
広島市歯科医師会  
高橋由佳氏
- 11月17日 「スポーツと歯の関係 マウスガードについて」  
広島市歯科医師会  
土屋崇文氏

**(6) 広島市歯科医師会ホームページについて**

ホームページアクセス数  
一般サイト 訪問者 1,555 (累計 189,832)  
ページビュー 21,604 (累計 1,142,364)  
会員サイト 訪問者 187 (累計 33,247)  
ページビュー 718 (累計 236,811)  
広報部 … Talking Heads<最新情報>  
掲載件数 88件(9/21~10/20)  
LINE公式アカウント 登録者数  
10月23日 104名

**(7) 特別委員会**

- 11月 1日 第1回会史等編纂特別委員会(予定)

**(8) 救急蘇生委員会**

- 10月20日 救急蘇生委員会救急ボックス薬品消耗品整備対応

**(9) 各部事業計画について**

**(10) 歯科医療安全相談**

- 10月 4日 相談 院長に診てもらえず義歯がすぐ  
に外れる(60歳代女性)
- 10月27日 相談 矯正治療返金について(女性)

**「協議事項」**

- (1) 会費について(2名)  
終身会員資格取得による会費額変更について2  
名承認
- (2) クリスマス特大号について  
内容確認協議
- (3) 令和4年新年互礼会について  
コロナ情勢を鑑み協議、継続審議
- (4) 会誌「太田川」について  
執筆候補者決定
- (5) ハイブリッド会議用の大型ディスプレイについて  
確認、継続審議
- (6) 学校歯科医選任について(段原小学校)  
森永行雄氏の後任に橋岡優氏を推薦することを  
承認
- (7) 広島YMCA講師選任について  
後任協議、継続審議
- (8) おくちの健康展について  
内容確認、WEB開催
- (9) その他  
なし

**「その他」**

特になし

会員の皆様へ

広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事水内裕之までお寄せ下さい。

広島市歯科医師会事務局

E-Mail: hiroshima@dentalpark.net

広報部担当理事 水内裕之

E-Mail: mizuuchi.shika@gmail.com

広島市歯科医師会ホームページ

<http://www.hiroshima-da.com/>

会員専用ページ

ユーザー名 : **Futaba**

本会PASS : **2622662**

協議会PASS : **welfare**

投稿記事締め切りは**毎月 25 日**です。

ご協力をお願いします。

事務局までメール(上記)投稿

をお願いします。

広島市歯科医師会の住所及び連絡先

〒732-0057

広島市東区二葉の里 3 丁目 2 番 4 号

広島市歯科医師会 TEL : 082-262-2662

FAX : 082-262-2668

休日診療専用電話 TEL : 082-262-2672



広島市歯科医師会は会員の皆様に対する情報提供の一助として会員専用の LINE 公式アカウント(非公開)を開設しました。



## LINE 公式アカウント 友達募集中！

このアカウントは非公開のものです。  
広島市歯科医師会会員にのみ配信します。会員のみ登録をお願いします。  
登録後のウェルカムメッセージに会員氏名を必ず返信してください。

### 友だち登録方法

#### QR コードで登録する方法

LINE アプリの「友達追加」画面から  
「QRコード」を選択。  
右のQRコードを読み込んで登録。



登録後のウェルカムメッセージに会員氏名を必ず返信してください。

#### LINE の ID 検索で登録する方法

LINE アプリの「友だち追加」画面から「検索」を選択。ID で「@698zzkzc」を検索して登録。

登録後のウェルカムメッセージに会員氏名を必ず返信してください。

### 今までの配信内容

8月 6日配信	医療広告規制におけるウェブサイトの事例解説書（厚労省）
8月 11日配信	広島県歯科医師会 動画「かみかみ百歳体操」、広島市も期間限定で「かみかみ百歳体操（広島市版）」を公開
8月 28日配信	油断大敵！ワクチン2回接種しても安心できません！（広島市役所）
9月 10日配信	ご確認ください！「妊婦歯科健康診査結果票」について（お願い）
10月 8日配信	本会広報部理事水内裕之氏 RCC テレビ出演のお知らせ 「受診控えは『万病の元』あなたの歯は大丈夫ですか？」
10月 11日配信	補助金のお知らせ～感染防止対策補助金手続き方法

新規登録時に 管理者側には登録した方の情報は届きません。必ず「自分の名前」「自分の診療所名」を下段のテキストボックスに入れて送信してください。